

## [006] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10262>

---

出版情報：語文研究. 6/7, 1957-12-30. 九州大学国語国文学会  
バージョン：  
権利関係：

目次

故杉浦教授追悼号によせて	福田良輔(巻頭)
俳人諸九尼の生涯	大内初夫(一)
——なみ女の頃——	
『おくのほそ道』板行以前の反響	白石悌三(二)
——影響史の序説——	
伊勢物語の章段配列に関する一考察	遠藤康子(三)
——助動詞の用法から——	
中世歌学書に見える言語意識の性格	佐田智明(五)
上代における母音音節の脱落について	森山昭二郎(四)
二葉亭四迷の現実認識	立川昭二郎(四)
狭衣の道心	大原一輝(五)
心敬と自然美	井手恒雄(六)
——彼の反仏教的発想への理解の試み——	
万葉集における有情とその存在の表現	瀬良益夫(七)
——「ゐる」「をる」を中心として——	
万葉集に於ける虚字の効用	瀬石 確(八)
正安本「義孝集」翻刻と校異	今井源衛(九)
学会彙報	(一七)
編集後記	(二九)